



打田しづかさん

>>PROFILE 大府市出身で、神田小、大府中を卒業後、岡崎城西高に入学。高校3年生の時に全国高校総体シングルス・ダブルス準優勝。平成20年(2008年)から日本ユニシスに所属し、平成25年(2013年)、ヨネックスオープンジャパンで準優勝。平成26年(2014年)3月、市スポーツ功労者表彰を受賞した。



バドミントンに 愛情を注ぐ。

小

学4年生から実業団チームまでの18年間、選手としてバドミントンに情熱を注いできた打田しづかさん。広報おおぶ平成19年10月1日号では、高校3年生の打田さんにインターハイのシングルスとダブルスで準優勝したことについてインタビューした記事を掲載しました。

日本ユニシス所属時代に出場した2013年ヨネックスオープンジャパンでは、準決勝で2011年世界選手権金メダリストの王儀涵選手(中国)を破る金星をあげて、決勝進出。決勝では山口茜選手に惜しくも敗れましたが準優勝に輝きました。広報おおぶ平成26年4月1日号では決勝で負けたことは悔しいですが、強豪選手を相手にいい試合をして、決勝まで勝ち残れたことは自信になります」と悔しさと満足感の入り混じった思いを語りました。打田さんは、その輝かしい功績から、平成26年3月に市スポーツ功労者表彰を受賞。

バドミントンを始めたきっかけを聞くと「母が友人にファミリーバドミントンに誘われ、一緒について行ったのがきっかけ



▲平成19年10月1日号



▲平成 26 年 4 月 1 日号



です。当時は、遊び感覚だったので、本格的にバドミントンを始めたのは、はりーあつぷジュニアに入団した小学4年生の時です」と話します。はりーあつぷジュニアが、結成されたのもこの時で、打田さんは1期生にあたります。

小・中学校時代、バドミントンに打ち込んできた打田さんにとっての思い出の場所は、たくさんあります。

「天府はバドミントンが盛んで、部活でできることが幸せなことです。バドミントンをしたことがない子も気軽に始められる」と語り、後にも先にもこの経験はなかったそうです。

「天府から世界で活躍する子どもに魅力を感じます」と、遠征などで全国津々浦々を巡ったからこそ分かる、スポーツのまち天府の良さを語ります。

「天府から世界で活躍する子どもに魅力を感じます」と、遠征などで全国津々浦々を巡ったからこそ分かる、スポーツのまち天府の良さを語ります。



2



3



4



5

①日本ユニシス所属時代。海外で行われた試合でのヘアピンショット ②平成26年3月、少年少女バドミントン教室で中学生にバドミントンを教える ③小学6年生の時のダブルスでの試合 ④中学2年生の全国大会 ⑤高校2年生の時、愛知県チームとして出場した第5回日本バドミントンジュニアグランプリ2006 (1③4⑤本人提供写真)

「たくさんの方にお世話になり、感謝しています。バドミントン界が盛り上がるように、できることからお手伝いし、頑張っているプレーヤーの皆さんを応援しています。打田さんは最後に感謝の気持ちと現役選手たちの活躍を願うメッセージを残しました。」